

なるほど！これならできる！ 親子で学ぶ お片づけ講座

日時：令和3年8月7日（土）10：00～12：00
場所：仁保地域交流センター
講師：天野 貴美栄 氏（整理収納アドバイザー）
受講生：親子12組（大人13人、子ども16人）

<講座内容>

子どもが取り組みやすい学習機の引き出しと、家族の集うリビングの整理収納について、理論と実践を学びました。

片づけは家族が気持ちよく暮らすために必要であり、親子で話しながらそれぞれの家庭のルールを作っていくことが大切と学びました。

《ペーパーワーク》

①物の分類、仕分け ②アイデア収納グッズの作成



■講師紹介■

天野貴美栄氏（整理収納アドバイザー）

出身は愛知県です。小学6年生の息子がいます。

自宅の片づけの理想と現実の違いにもやもやしていましたが、職場の書類整理ですっきりしたこと、またそれを周囲に喜んでもらえ嬉しかったことなどをきっかけに、整理収納アドバイザーの資格を取得しました。以降、出張整理収納サービスや自宅セミナー、講座の講師を行っています。



本日のテーマ

- 学習機の引き出しの片づけかた
- 親子で一緒にちょうどいい片づけを見つける

考えてみよう「片づけて必要？」

片づいてなくて困ることは何だろう…？

子どもの参加者に、学年と**困る派** **困らない派**について、一人ずつ発表してもらいました。様々な意見がありました。

「使いたいときに物がみつからなくて困る」

「無くしたものを探す時間をもったいない」

「学校の教科書がみつからないと困る」

「部屋にモノが落ちていたら踏んでしまって痛い」

「散らかっちゃったらそれはそれでいいかな」

などなど



▼片づけるとおこる3つのいいことはこんなこと



- 1 きもちがいい
- 2 探し物が減る
- 3 お母さんがニコニコする

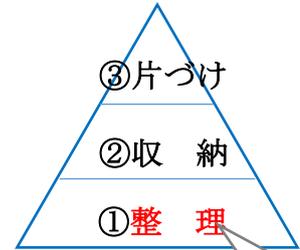
一日5分の時間は年間だと30時間！！



家はみんなの場所。みんなが気持ちよく暮らせるようにしましょう。

整理収納の基本

- ①「整理」・・・不要なモノをとりのぞくこと、区別すること
- ②「収納」・・・使いやすく戻しやすくするしくみづくり
- ③「片づけ」・・・使ったものをもとに戻すこと



基礎が大事！

片づけるには、まず整理から！

▼整理とは？

- 1 いらないものをとりのぞくこと
…本当にいるのかいらないのかを判断し決め、それを取り除くこと。家の中に置くものは必要なものだけにすること。
- 2 なかまでわけること
…種類、持ち主、つかう頻度、大きさなど分け方は自分ルールでよい。

ポイント

★片づけのコツ・・・小さな引き出しから始めよう！

→成功体験を積むことで意欲につながり、大きな片づけもできる。



●学習機の引き出しの片づけかた

▼4つのステップ

- 1 ぜんぶ出す・・・今までみえてなかったモノがでてくる。自分のもっているモノを把握する。
- 2 「いる・いらない」でわける・・・いらないモノがいるモノを隠してしまっている。自分で決めることが大切。
- 3 「いる」を仲間でわける・・・マイルールでだいじょうぶ！
- 4 「しきり」をしてもどす。

やってみよう！①「仲間でわける」



やってみよう！②紙ぶくろのしきり作り

紙ぶくろを使って「しきり」を作ってみよう！

①上半分を切り落とす

②残った部分を内側に折りこむ



できた！



ポイント

- ★収納のコツ・・・たてて収納が便利！⇒収納量が増え、探しやすく、取り出しやすくなる
- ・直角な入れ物で！⇒角が丸いものは無駄なスペースができてしまう

●親子で一緒にちょうどいい片づけを見つける

『リビングの片づけ』

家にも公共の場があります。公共の場所とは・・・学校、公園、レストランなどみんなで使うみんなの場所のこと。リビングは家の中の公共の場所。家族はそれぞれ様々な活動をするので、いろいろなモノが集まってくる。

だから・・・

みんなが気持ちよく過ごすためのルールが必要！

- たとえば・・・
- ・自分のモノをたくさん置かない
 - ・みんなが使うモノの場所をきめる
 - ・使った人がかならずもどす
 - ・一日一回は片づけタイムをつくる など



ポイント

- ★ゲーム機は自分の部屋には置かないようにしましょう。保護者の目の届く場所へ！
- ★大人には簡単にできることでも、子どもには難しいことがあります。子どもにできることを親子で話し合って決めましょう。
- ★言葉にして伝える・・・「ちゃんと見てるよ」できたを認める声かけ

「これならできる」を親子で見つける例

例：脱いだパジャマが床に置きっぱなし

- *洗濯カゴを置く位置を、子どもの動線に合わせる。
- *できたときにしっかりほめる。

「できたね」
「洗濯物をカゴに入れてくれていたね」

★ちょうどいい片づけのコツ

- ・片づけが苦手な人に合わせる
- ・移動する距離を短くする
- ・出し入れしやすい工夫をする
- ・夫（思いやり）スペースをつくる



まとめ

- ・それぞれの意見を聞いて、歩み寄る
- ・子どものできること、できないことを理解して対応を考える
- ・家族にとってちょうどいい片づいた状態をみつけて作っていきましょう



質問タイム

Q「3人きょうたいの性格がバラバラ、そんな子どもがたくさんいる場合のアドバイスをお願いします。」

A「同じきょうだいでもかたづけの得意不得意はある。それぞれの子どもをよくみて、一番苦手な子に合わせ、その子に一番使いやすい場所を与えてみましょう。」

Q「娘の勉強机や教科書は2階にあるけれど、勉強する場所は1階にあるので道具を使うのに行ったり来たりしてしまいます。」

A「『リビングをすっきりさせること』と、『子どもにとって便利な収納』どちらも大切であるけれど、できればリビングに子どもの道具の収納スペースを準備してあげてほしいと思います。」

Q「娘の作った折り紙をいる、いらないにわけることができません。」

A「折り紙にランキングをつけ、リビングなどのよく使う近くの場所に箱を置き、ここに入れるものを上位ランクより選び、その他は別の場所にしまうようにするといいです。」

《講座の様子から》

講話中、保護者も子どもさんもしずかに座って、話を聞かれていました。熱心にメモをとる姿もみられました。参加者は、親子で話ながら、楽しそうにワークをされました。子どもさんの分け方が意外だったと、我が子の知らない面をみつけて驚かれる様子もありました。

片づけられないときには理由がある。困っているところの理由と改善方法については、おうちに帰ってからのワークとなりました。



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため以下の対策を行いました。ご協力ありがとうございました。
日程変更・人数の調整・マスクの着用・受付での検温、体調の確認・手指消毒の奨励・家族同士の間隔保持

アンケートより ご意見・ご感想を一部ご紹介

- ★実践もまじえてわかりやすいお話をありがとうございました。親子で同じ話を聞くことができ、これから一緒に話し合い、歩みより、家族みんなが気持ちよくすごせるように少しずつ実践していきたいと思います。ありがとうございました。
 - ★はじめて親子で参加しました。子どもにもわかりやすく、私も声のかけ方がわかりとても良かったです。ありがとうございました。
 - ★片づけされている方が気持ちいいし、生活しやすいのは分かっていたが、どうしてなのか、その行程の意味と理由がよく分かり、納得しました。完璧を求めず、ちょうどいいをみつきたいです。
 - ★ぜひ活用して実践していきたいと思います。ありがとうございました。
 - ★子どもにとっての片づけ、大人の片づけの違いが分かった。子どもの視点で考え、子どものやり方を尊重して片づけに取り組みたい。VIP待遇方式、参考になりました。
-
- ・チームにわけるとどこになにがあるかわかった。(1年生)
 - ・今日の話で、かたづけがかんたんにできそうにおもいました。これからも、つかったものは、かたづけるように、心がけようと思いました。ほかにも、かたづけをして、かぞくできもちよくすごせるようにしようと思いました。(3年生)
 - ・今日は、とても楽しくて、勉強になりました。『整理収納4つのステップ』のことがよく分かりました。1 ぜんぶ出す 2 「いる」「いない」でわけると、大切なことが分かりました。しきりの作り方も分かって楽しかったです！(5年生)
 - ・かたづけはきれいだけど、工作とかの工夫があるなら、もっとやれるかもしれないと思いました。(6年生)

